

卒業生アンケート 集計・分析結果（令和5年度調査）

1. 調査対象：令和2年度看護学部卒業生 99名
令和4年度看護学部卒業生（令和5年度専攻科・大学院入学者等を除く）96名
2. 調査方法：卒業時調査での住所への郵送及び聖マリア病院就職者については看護部の協力を得て病院内メールボックスへ投函
3. 調査時期：2024（令和6）年3月中旬～3月末（締切後、5月末までで再依頼）
4. 回答者数/回答率：32名（令和4年度卒18名、令和2年度卒14名/1）／16.4%
※宛先不明等で郵送不可を除いた回収率約19%
5. 質問内容：
 - ディプロマ・ポリシー記載事項が大学での学びや経験で身についたか、仕事に活かされているか（5段階評価）
 - カリキュラムに関する意見（自由記載）
 - 就職・進学の実況と今後の希望等
 - 在学中の支援等についての満足度（学生生活支援/学修支援/キャリア支援/国試対策/施設・設備）

質問項目詳細

<大学での学びや経験で身についたと思うこと、仕事に活かされているかどうか>

- ①カトリックの愛の精神に基づく人間性（人間の尊厳の理解、ケアリングの実践等）
- ②豊かな人間性の基礎となる教養、③看護実践に必要な基本的かつ専門的知識
- ④看護実践に必要な基本的技術、⑤論理的、科学的思考力、科学的根拠に基づく看護提供、⑥問題解決力、判断力、⑦リーダーシップ、⑧協調性、フォロワーシップ
- ⑨コミュニケーション力、⑩国際的な視野、⑪地域に貢献する姿勢、⑫主体的探求力
- ⑬大学での授業全般について

<自由記述>

- ①本学で看護学を学修したことは、看護師としての実践や、成長にどのように活かされていますか。本学で看護学を学んだことについて
- ②臨床実践に取り組まれている中で、もう少し大学生の期間に教育を強化した方がよかった点や、本学のカリキュラム（教育課程）にさらに期待される内容

<在学中の支援等についての満足度>

- ①教職員による学生生活支援、②教員による学修支援、③キャリア支援（就職、進学への支援等）、④国家試験対策、⑤施設・設備

学修成果、教育成果、カリキュラム関連回答に関する総括

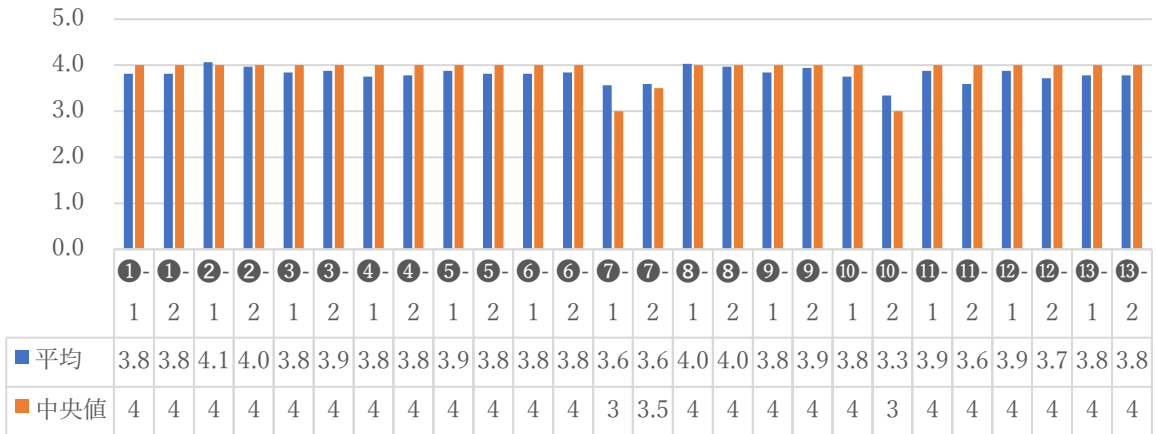
ディプロマ・ポリシーに関連する事項に関し、“大学での学びや経験で身についたかどうか、また、その能力は仕事に活かされているか”の設問（令和2年度卒業生・令和4年度卒業生の総合結果）において、26項目中、23項目で中央値が4（概ね身に付いている）となり、また平均値においても、25項目において3.5以上となり概ね良好な結果となっている。平均値が4.0を超えたのは4項目であり、豊かな人間性の基礎となる教養<身についた/仕事に活かされている>、協調性・フォロワーシップ<身についた/仕事に活かされている>であった。一方、平均値が3.5を下回ったのは国際的な視野<仕事に活かされている>の1項目であったが、勤務先の国際活動状況や配属先の影響が大きいものと考えられる。また国際的な視野については、最も良い評価である“5”と回答した率は高く二極化の傾向も見受けられた（コース履修の有無による可能性）。

令和2年度卒業生と令和4年度卒業生を比較すると、回答者数に差はあるものの、全体的に令和4年度卒業生の方が良い結果となっており、令和4年度卒業生では平均値が3.5を下回る項目はなかった。

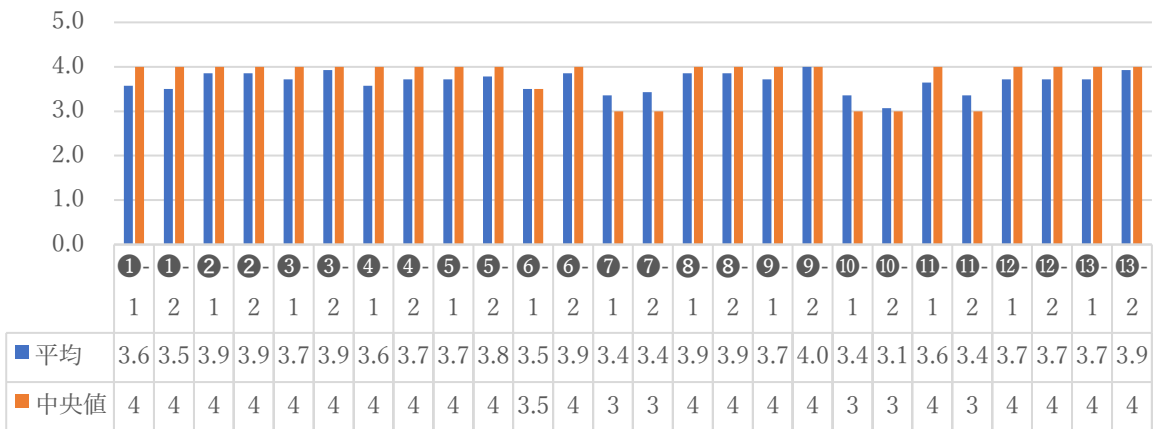
自由記述では、「カトリックの愛の精神に基づいた看護を学び、より人に寄り添った看護を実践できている」「疾患中心で患者さんを診るのではなく、患者さん自身を1人の人間として捉えて、その人の生活がより豊かになるにはどう関わるべきなのか、その人自身がその人らしい生活を送るためにはどうすればいいのか、何を充足すればいいのか考えて行動することに活かされている」「急性期病院ということもあり、患者さんと話す時間は限られているが、その中でもカトリックの愛の精神で学んだ患者の話を傾聴し愛を持って接することができ、限られた時間の中でも信頼関係を構築できている」など、建学の精神・教育理念に基づく教育が実践においても活かされていることへの意見が最も多かった。

“大学生の期間に教育を強化した方が良かった点、カリキュラムにさらに期待する内容”を聞いた自由記述では、本調査対象者がコロナ禍での学修となった学生である影響もあるが、看護技術・演習に関する意見が見受けられた（オスキーについては良かった点としてもあげられている）。

令和2年度卒・4年度卒総計

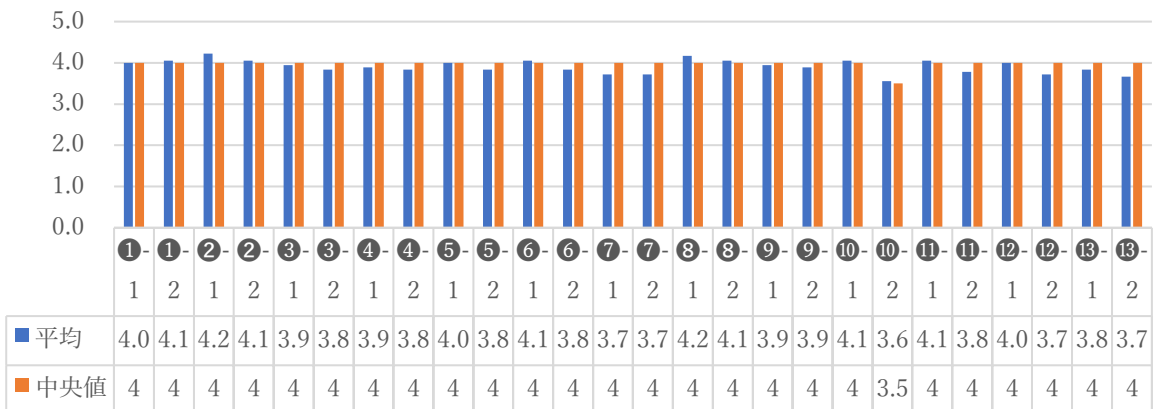


令和2年度卒業生結果



令和2年度卒の全項目の平均値：3.66

令和4年度卒業生結果



令和4年度卒の全平均値:3.91

※各項目の平均値は小数点第2位を四捨五入

5：とても身についた/とても活かされている 4：概ね身についた/概ね活かされている

3：どちらとも言えない/現時点では活かされていないが将来活かされると思う

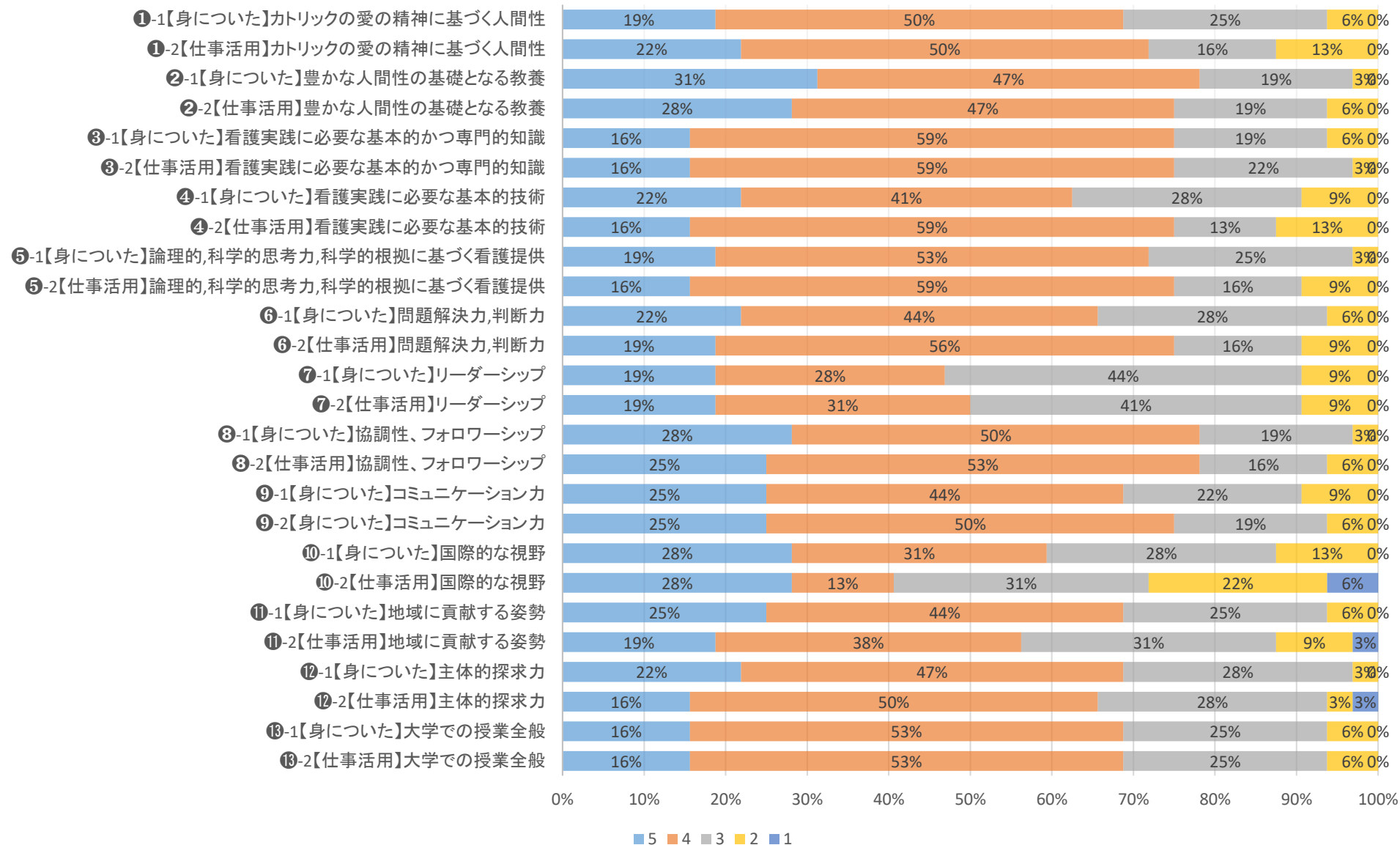
2：あまり身につかなかった/あまり活かされていない

1：全く身につかなかった/全く活かされていない

※表中の①～⑬は1ページ記載の質問番号

(①の下の1は大学での学びや経験で身についたか、2は仕事に活かされているか)

各設問の5段階評価の回答率(令和2年度卒・令和4年度卒合計)



就職・進学の実況と今後の希望等

設問：現在の勤務先や進学先（転職等の有無）

	令和4年度卒(回答18人)		令和2年度卒(回答14人)	
卒業時と同じ	17人	94%	11人	79%
卒業後に転職	1人	6%	2人	14%
その他	0人	0%	1人	7%

設問：今後のキャリアアップ希望

	令和4年度卒(回答18人)		令和2年度卒(回答14人)	
大学院博士課程進学	1人	6%	0人	0%
大学院修士課程進学	3人	17%	0人	0%
専門看護師	7人	39%	0人	0%
認定看護師	4人	22%	1人	7%
研究・教育職	1人	6%	0人	0%
特になし	8人	44%	13人	93%
その他	0人	0%	0人	0%

※複数回答のため合計は100%を超える

在学時の支援等に関する満足度

